

上町自治会

令和3年度

上町自治会館 耐震・工事検討委員会 活動報告書

◆◆ 目次 ◆◆

1	はじめに、現上町自治会館の状況	1
2	上町自治会館(木造住宅)の耐震診断報告書(令和3年2月5日)	2 ~ 3
3	自治会館耐震・工事検討委員会発足	4
4	自治会館耐震・工事検討委員会活動報告	5
5	自治会館建替え概要説明に関する意見・要望・質問等	6
6	自治会館建替え整備計画(方向性)	7 ~ 8
7	上町自治会館(消防詰所含む)建替え積立金設置規約	9
8	令和4年度上町自治会館建替え準備委員会発足	10

上町自治会館 耐震・工事検討委員会

はじめに

近年、世界各地で地震や火山の噴火が頻発している。トンガの海底火山噴火や、インドネシアやハイチでのマグニチュード7を越える大地震が、国内でも令和3年1月だけで、東京や埼玉で震度5強を観測した地震や、まだ記憶に新しい山梨県東部・富士五湖を震源とする地震の発生で、大月市では震度5弱を未明から朝にかけて2度も記録しました。

現上町自治会館は、建設から50年以上経過しており老朽化も進んでいることから、大規模な地震による倒壊の可能性や損害規模等を調査目的に、令和2年10月の組長会議に提案し、上町自治会館の耐震診断をあおぞら設計室へ発注いたしました。

令和3年2月に診断結果が示され、評点0.18(倒壊する可能性がある)と、その評点は低いものとなった。構造上の問題として、2階部分のハネダシは1階に自重、地震力を受ける壁、柱がなく耐力は見込めない。また、ハネダシ周辺を補強しても直下部に出入口等があり有効な耐震要素がない。あわせて1階2階とも床面積に比べ壁耐力が不足し中央部分の耐力が弱く、大規模な地震が来れば倒壊する可能性があるとの評価内容でした。

大規模な地震はいつ来てもおかしくない状況の中、早急な対策が必要ですが対策には多大な資金が掛ることは避けられず、現状の上町自治会の財政事情を直視する限り大変厳しい状況です。資金及び様々な課題が山積する中、この診断結果を受け、自治会及び地域活動の拠点としての上町自治会館のありかたを含め、上町自治会館耐震・工事検討委員会を発足し、検討してまいりました方向性を報告いたします。

令和4年3月

令和3年度 上町自治会
上町自治会館耐震工事検討委員会
委員長 石井 公和
事務局 志村 裕一

(1)

木造住宅の耐震診断 報告書

令和 3 年 2 月 5 日

(申込者) 山口県山口市上谷4-5-1 様
 山県県山口市上谷4-5-1 様
 02641
 山県県山口市上谷4-5-1 様
 02641
 山県県山口市上谷4-5-1 様
 02641
 山県県山口市上谷4-5-1 様
 02641

木造住宅の耐震診断を実施した。
 上町自治会館 697
 について、耐震診断結果を下記の通り報告いたします。
 (一)山県県山口市上谷4-5-1 様は、本報告書の記載のとおり、耐震診断の結果、構造が、
 1階は1.5未満、2階は1.0未満と判定され、耐震性の向上を図る必要があります。

総合評点	0.18	一般診断 (精算法)	方法 1
判定	倒壊する可能性が高い		
今後の対策	専門家と相談し、補修又は補強を行なってください。		
方向	X Y		
評点決定係数	2階 1階		
減衰係数	0.49 0.18		
Qu (耐力)	12.81 30.41		
Gr (必要耐力)	25.80 65.73		
Qu/Gr (耐力比)	0.49 0.46		
eKf/底層係数	1.00 0.40		
dK 劣化度	1.00 1.00		

山口県 山口市 上町自治会館 697
 YMT-00173 Ver.5.17
 木造住宅の耐震診断ソフト

上部構造評点のうち最小値	0.18	倒壊する可能性が高い
1.5 以上	倒壊しない	
1.0以上~1.5未満	一応倒壊しない	
0.7以上~1.0未満	倒壊する可能性がある	
0.7 未満	倒壊する可能性が高い	

評点とコメント

(コメント)
 診断の結果、評点は低いものとなった。耐力要素の耐力力の合計が1.2階とも床面積に列して必要耐力の約50%であり、中央部分に耐力要素が少なく、特に1階はY方向の耐力が低いことが影響している。また補強の際は北側のハラスについては何に何に補強しても下階には出入口などがあり有効な耐力要素が少ない。除去壁の選択も慎重に入れながら調査検討し、耐力要素のハラスのよい配置と、水平構面の補強が必要であると考えます。

木造住宅の耐震診断・補強計画 ①

階	方向	保有する耐力 Qu (kN)	配置等による低減係数 eKf	劣化度 dK	建物耐力 edQu (kN) = Qu x eKf x dK	必要耐力 Gr (kN)	上部構造評点 edQu/Gr
2階	X	3QuX	3eKfX			3Gr	
	Y	3QuY	3eKfY				
1階	X	2QuX	2eKfX	1.00	12.81	25.80	0.49
	Y	2QuY	2eKfY	1.00	15.87	65.73	0.18
		X 1QuX	1eKfX		50.47	1Gr	
		Y 1QuY	1eKfY		12.16		

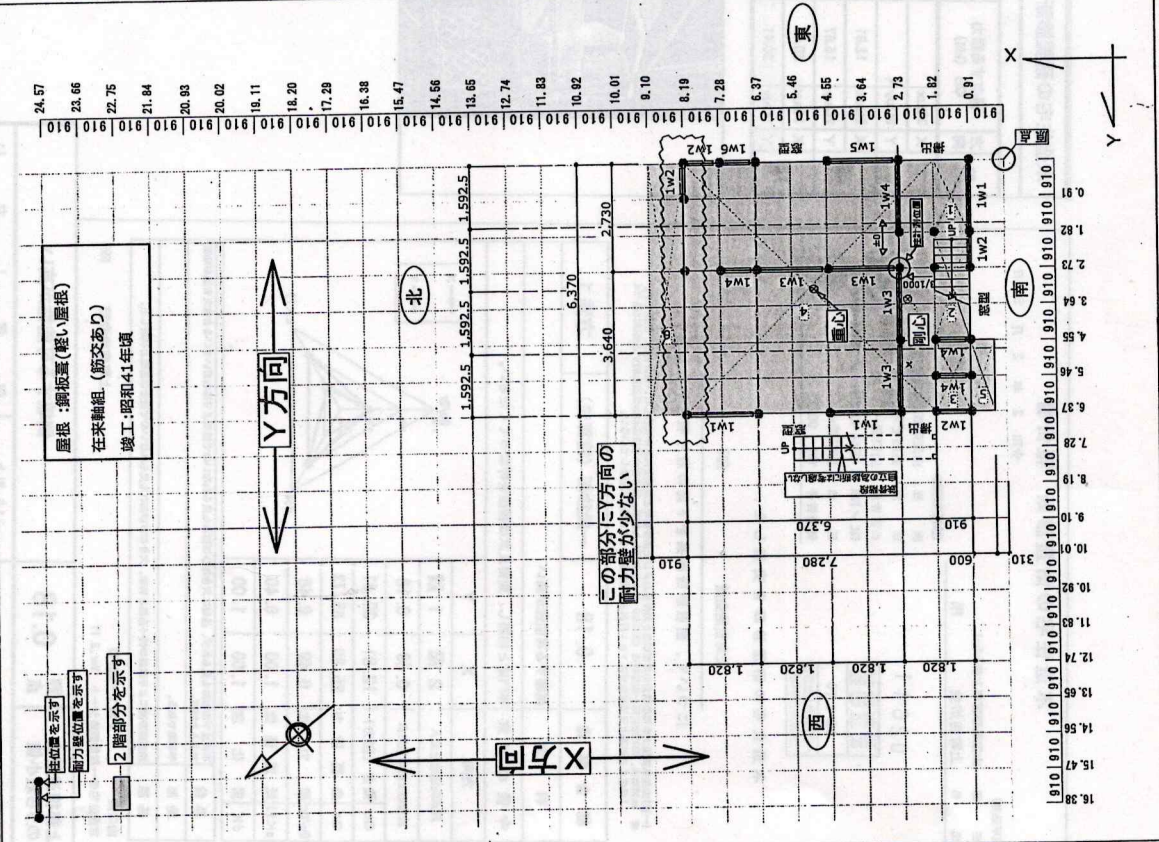
1階のY方向の評点により決定
 主な原因の1つは1階の耐力要素の配置の
 ハラスがよくない事

部位	写真	コメント	全景 (3)
1階の天井裏		1階の天井裏 2階床組	1階・南側 屋根：方ラ一鉄板瓦葺き 外壁：杉外壁 外壁、軒裏にひび割れが 見られた
小屋裏の状況		小屋裏の状況 2階の天井裏	1階の天井裏 2階床組
コメン		山形材が1820が設置されている。 外径45 x 54@455 材木に特に異常は見られない。	1階の天井裏 2階床組

① 木造住宅の耐震診断 調査図面 1階平面図

1階の壁・柱位置をグリッドで記録する。2階は形状位置を重ねて記録する。グリッド 0.91 m

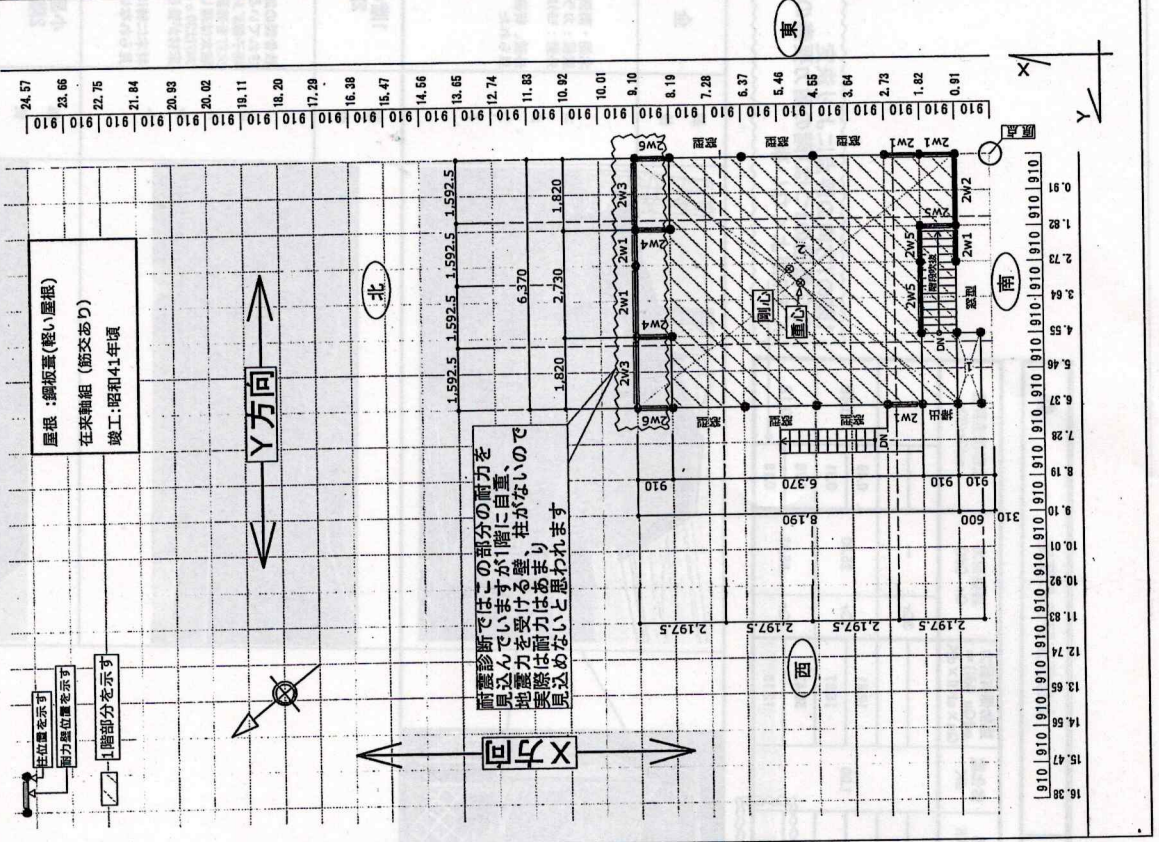
診断用面積 1階面積 53.27㎡ 2階面積 53.26㎡



② 木造住宅の耐震診断 調査図面 2階平面図

1階の壁・柱位置をグリッドで記録する。2階は形状位置を重ねて記録する。グリッド 0.91 m

診断用面積 1階面積 53.27㎡ 2階面積 53.26㎡



上町自治会館耐震・工事検討委員会発足

1 発足の経緯

前年度、上町自治会館の耐震診断結果を受けて、上町自治会内に「上町自治会館耐震・工事検討委員会」を、委員長に令和3年度自治会長の石井公和、事務局に令和3年度上町自主防災会長の志村裕一、そして令和3年度の役員、令和2年度の役員を含めた、以下9名のメンバー構成により発足いたしました。尚、上町自治会館耐震・工事検討委員の任期は令和3年度定期総会までとする。

2 上町自治会館耐震・工事検討委員会メンバー

令和3年度役員

・石井公和 自治会長 ・西村光太郎 副自治会長 ・井上菊司 副自治会長

・志村裕一 自主防災会長 ・山崎和雄 自治会会計 ・新田信一 自治会館運営委員長

令和2年度役員

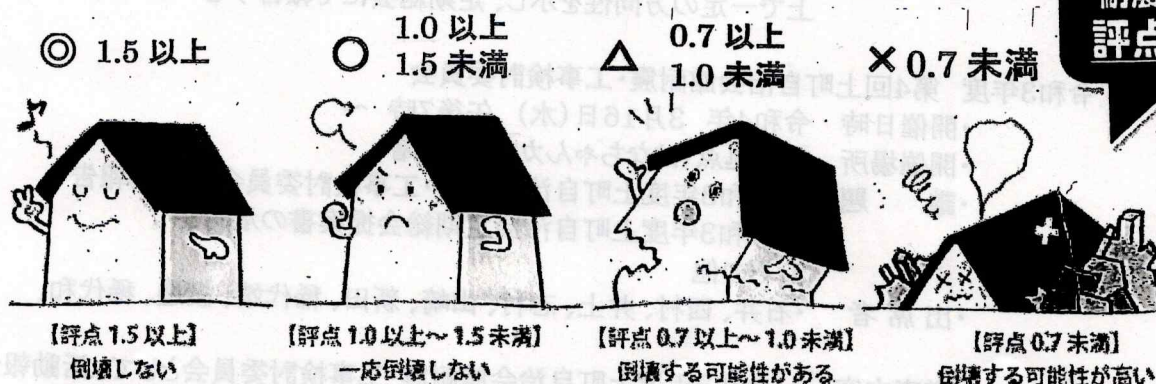
・稀代靖 自治会長

・稀代和夫 副自治会長 ・渡邊宗正 副自治会長



3 検討委員会の役割(目的)

自治会館の役割(存在意義)と上町自治会の将来の在り方を見据えた上で、耐震診断の結果から見える自治会館の現状を直視し、財源を中心とする様々な課題を検討材料として、多くの方々の意見、要望等を集約し上町自治会館耐震・工事検討委員会において、一定の方向性を示す事を目的とする。



上町自治会耐震・工事検討委員会活動報告

1 令和3年度 第1回上町自治会館耐震・工事検討委員会

- ・開催日時 令和3年 6月19日(土) 午後7時 ~
- ・開催場所 環の拠点(はなちゃんカフェ) 2階
- ・議 題 1) 想定される課題の検討
2) 課題に対する対策案の検討(新築・改築・助成金・財務状況・他)
- ・出席者 ・石井、西村、井上、志村、山崎、新田、稀代靖、渡邊、稀代和、
- ・議事内容 1) 第1回検討委員会の開催にあたり、検討委員会の進め方及び本会における役割(目的)の確認、委員会運営にあたる事務局の設置を確認、事務局にて次回の委員会において対策案を示すことを確認

2 令和3年度 第2回上町自治会館耐震・工事検討委員会

- ・開催日時 令和3年 7月28日(水) 午後7時 ~
- ・開催場所 環の拠点(はなちゃんカフェ) 2階
- ・議 題 1) 耐震診断結果に対する対策(案)
2) 耐震診断結果に対する方向性(案)
3) 上町自治会の財政状況の確認
4) 建替え資金の調達方法
- ・出席者 ・石井、西村、井上、志村、山崎、新田、稀代靖、渡邊、稀代和、
- ・議事内容 1) 事務局が示した対策案の確認と検討、9月25日(土)に開催予定の組長会議にて示すことで一致、この対策案をたたき台にして広く意見や要望及び質問事項を求めることを確認

3 令和3年度 第3回上町自治会館耐震・工事検討委員会

- ・開催日時 令和3年 10月27日(水) 午後7時 ~
- ・開催場所 環の拠点(はなちゃんカフェ) 2階
- ・議 題 1) 10月23日(土)組長会議での意見等についての報告と検討
2) 令和3年度自治会館耐震・工事検討委員会の役割と任期
3) 令和4年度における準備委員会の設置について
- ・出席者 ・石井、西村、志村、新田、稀代靖、渡邊、稀代和、
- ・議事内容 1) 検討委員会において示された対策案に対する意見等の報告と検討、意見等を含めた対策案を検討委員会において最終的に決定した上で一定の方向性を示し、定期総会にて報告する

4 令和3年度 第4回上町自治会館耐震・工事検討委員会

- ・開催日時 令和4年 3月16日(水) 午後7時 ~
- ・開催場所 環の拠点(はなちゃんカフェ) 2階
- ・議 題 1) 令和3年度上町自治会耐震・工事検討委員会の活動報告
2) 令和3年度上町自治会定期総会提案書の承認
3) その他
- ・出席者 ・石井、西村、井上、志村、山崎、新田、稀代靖、渡邊、稀代和、
- ・議事内容 1) 令和3年度上町自治会館耐震・工事検討委員会として、活動報告書にまとめ、令和3年度上町自治会定期総会議案書として示すことを決議し承認

上町自治会館建替え概要説明に関する意見・要望・質問等

1 上町自治会館耐震・工事検討委員会対策案(※7月28日開催第2回検討委員会提示分資料)

上町自治会関係 各位

令和3年 9月25日(土)
検討委員会 会長 石井 公和
検討委員会 事務局 志村 裕一

第2回 上町自治会自治会館耐震結果対策検討委員会 (令和3年7月28日(木)開催)

1 耐震診断結果の内容について

- 1) 実施年月日 令和2年10月耐震診断をおおぞら設計室へ発注(※費用 352,000円・令和2年会計年度にて決済済み)
- 2) 診断評価点と対策 評点 0.1B(※倒壊する可能性が高く、建替えまたは補強を行う必要がある)
2階部分のハネダシは、1階に自重、地震力を受ける壁、柱がなく耐力は見込めない。また、ハネダシ周辺を補強しても直下部に出入口等があり有効な耐震要素がない
- 3) 診断結果内容 1階2階とも床面積に比べ壁耐力が不足し中央部分の耐力が弱い。また1階は特にY方向のバランスが悪い。
2階部分のハネダシは除去減築の選択を視野にいれ調査検討し、耐力要素のバランスの良い配置、水平横面の補強が必要。

2 耐震診断結果に基づく対策の方向性について

- 1) 建替え計画を策定する 耐震診断結果からも大幅な改修補強工事が必要な中、建物自体の老朽化に伴う維持(修繕等)管理費の発生も今後見込まれる。また、自治会の加入世帯の減少傾向(平成27年度比94%)、加入世帯の高齢化を踏まえ、自治会活動の拠点となる自治会館活用ニーズの変化等も考慮して将来を見据えた建替え計画を策定する。
- 2) 地震等倒壊リスク管理 現在加入している火災保険では地震災害(自然災害は含む)は保障対象外であることから、新たに「施設所有管理者賠償責任保険」に加入する。保障内容について身体(1名)一億、身体(1事故)一億、財物(1事故)5千万、年間保険料(参考70㎡)510円でリスク回避ができる。

3 建替え資金の調達方法について

- 1) 自治会財務の確認 自治会加入世帯の減少傾向の中、過去数年の収支決算を確認すると通年事業を実施するにも厳しい状況です。また、本年度収支予算については自治会館修繕事業を盛り込んだ為に積立金を取り崩さなければならぬ状況です。自治会館建替えを策定する上で、今期の自治会館修繕を取りやめて資金調達計画を策定した。
- 2) 助成金・補助金の活用 コミュニティセンター助成金の活用を申請する。但し、助成対象の要件として「認可地縁団体」(※上町自治会の法人化)を取得しなければならない。現状の自治会館は消防詰所等と一体化した建築物であることから、都留市補助金(消防施設等整備事業補助金※費用の1/2上限200万円)の活用も検討する
- 3) 積立金の設置 自治会加入世帯に年間3,600円(月額300円)を10年間の期間を設定し、令和4年度より運用を開始する。

4) 上町自治会館耐震診断結果に伴う建替え(新築)工事に係る試算表について

※ 単位 円				※ 単位 円					
収入科目		算定基礎	単価	合計金額	支出科目		算定基礎	単価	合計金額
収入	自治会費	146世帯	700円	1,228,400円	支出	事務費	1年	20,000円	20,000円
収入	事業所アパート協力金	10件	10,000円	100,000円	支出	会議費	1年	10,000円	10,000円
収入	事業所アパート協力金	1件	2,400円	2,400円	支出	運営諸費用			30,000円
収入	自治会費等収入合計			1,328,800円	支出	上谷地区体育振興会会費	146世帯	400円	58,400円
収入	世帯割	146世帯	300円	43,800円	支出	社会福祉協議会会費	146世帯	700円	102,200円
収入	均等割	1件	10,000円	10,000円	支出	自治会連合会負担金	10%	5,380円	5,380円
収入	2市助成金収入合計			53,800円	支出	負担金支出合計			165,980円
収入	街灯費補助金	61灯	800円	48,800円	支出	敬老会事業	100人	3,000円	300,000円
収入	敬老会補助金	48人	1,000円	48,000円	支出	美化推進事業	1回	5,000円	5,000円
収入	市農公報配布費	1件	6,400円	6,400円	支出	広報事業費	1年	20,000円	20,000円
収入	市補助金収入合計			103,200円	支出	事業費支出合計			325,000円
収入	交通安全協会(手数料)	10%	129,000円	12,900円	支出	3街灯電気料金維持費合計	1年		110,000円
収入	日赤十字社(手数料)	10%	142,000円	14,200円	支出	4各種団体助成金合計	4件/年		590,000円
収入	NTT電柱土地使用料	1年	6,000円	6,000円	支出	5協賛金合計	1件/年		10,000円
収入	雑収入合計			33,100円	支出	6繰出金合計	3件/年		285,000円
収入	概算年間平均収入合計			1,518,900円	支出	7概算年間平均支出合計			1,515,980円
収入	6資金収支差額合計			2,920円					

4 計画策定に伴う今後のスケジュールについて

- 1) 対策の承認 対策検討委員会及び組長会議を通じ意見を集約し、第52回定期総会において最終審議を諮る
- 2) タスクチーム発足 上町自治会認可地縁団体設立準備委員会を設立する
- 3) 認可地縁団体設立(必須) 令和4年度認可申請準備に入る。
- 4) 都留市議決法広報担当協議 申請の流れ 1. 事前協議(認可要件・手続き規約) 2. 自治会総会決議(認可申請・規約決議) 3. 認可申請(認可申請書・添付書類提出※審査期間30日)

2 自治会館耐震・工事に関する意見・要望・質問等 (※組長・常会等)

自治会館の利用頻度が少なければ、多額の費用をかけずに改築により費用を下げることも一考

町内で貸してくれる家や空き家等があれば建替えしなくてもすむのではないかと

建替えの方針については賛成、この方針で進めてほしい

2階への上がり下がりきつい、建替えるなら平屋にしてほしい

10年後の建替えや10年間積立は長すぎる。5年位の方が先が見える

消防団詰所と自治会館を分離しなければ補助金が出ないとすると、建替えの場所についてはどうするか、更に費用が増えるのではないかと

消防詰所と自治会館の分離建替えに際し、今後の消防団組織のありかた、消防団員のなりて不足の慢性化も検討課題

建替えに2000万円かける価値はあるのか、平屋ならもっと安く出来ないか

自治会費が値上げになると調整が大変。過去に値上げでもめた事もある

自治会一般会計の収支見込はどうなのか、余剰金はどのくらい出るのか

自治会館建替え整備計画(方向性)

1 自治会館整備の方向性

耐震診断結果からの大幅な改修工事が必要な中、建物の老朽化に伴う維持(修繕等)管理費の新たな発生も見込まれると同時に、現状の自治会館使用用途(消防詰所と一体化)では建物の改修補強工事費は助成金の対象外です。また、自治会の加入世帯の減少傾向(平成27年度比94%)、加入世帯の高齢化を踏まえ、自治会及び地域活動の拠点となる自治会館の活用ニーズ等の変化を考慮して将来を見据えて建替え計画を策定する。

2 想定する上町自治会館の整備方法

建替えには多大な資金を必要といたします。自治会の自主財源が厳しい状況の中、財源確保のため助成金及び補助金を最大限活用してまいります。助成金の活用には今後上町自治会がクリアしなければならない幾つかの要件があります。一つは自治会館と消防詰所を分離した形で建替えなければなりません。また、現状の自治会組織の法人化(上町自治会認可地縁団体)が必須です。検討委員会では自治会館と消防詰所を分離した形で建替えを整備する方法を進めます。自治会の皆様には新たな負担をお願いしなければなりません。ご理解の程を宜しくお願い申し上げます。

3 自治会館の建替え場所

現自治会館の立地場所に消防詰所機能を分離し、自治会館を解体及び建替える。消防詰所は町内のしかるべき所を探し新たに建設する。(※敷地面積は概ね13坪程度、現状は未定)

4 自治会館建替えに係る財源

(単位：円)

区分	事業費 A	財 源 B					収 支 (A-B)	
		助成金1	助成金2	積立金1	積立金2	積立金3		
自治会館	建替え工事費	11,143,000	6,727,260		6,429,371	2,168,893	3,132,000	7,314,524
	解体撤去処理費	864,000						-864,000
	建物登記費用	69,100						-69,100
小計		12,076,100	6,727,260	0	6,429,371	2,168,893	3,132,000	6,381,424
消防詰所	建替え工事費	6,721,000		2,000,000				-4,721,000
	土地取得費	1,625,400						-1,625,400
小計		8,346,400	0	2,000,000	0	0	0	-6,346,400
合計(A+B)		20,422,500	6,727,260	2,000,000	6,429,371	2,168,893	3,132,000	35,024

5 工事着手事業年度試算 (事業費 - 財源 = 0) ※令和4年度以降予算計上数値にて算出

積立金1		300,000 円				1,800,000
積立金2	毎年額	70,000 円	6	年	総額	420,000
積立金3		522,000 円				3,132,000

6 自治会館建替えに係る財源内容

(単位：円・世帯数：1)

- ・助成金1 (コミュニティセンター助成事業) 助成率 60% 上限額 15,000,000
 ※対象建物本体をコミュニティセンター(自治会館)としての用途で使用するもので、主に新築を対象とする。
 ※対象経費は建物本体と付属設備(照明・エアコン・建具含む)、登記費用、外構、解体撤去処理費用は対象外
- ・助成金2 (消防施設設備事業補助金) 補助率 50% 上限額 2,000,000
 ※都留市独自の補助金制度、補助対象を消防団とし申請窓口は消防課庶務担当とする
 ※対象事案については消防団が管理している詰所、火の見やぐら等の新築及び修繕等に要する費用を補助する
- ・積立金1 (上町自治会特別積立金) 令和3年度決算積立金残高 4,629,371
 ※上町自治会一般会計予算を財源に、特別会計に積立(定期預金)
 ※繰り出し金額については、毎年度の事業計画に基づき予算編成する(金額変動有り)
- ・積立金2 (上町防災会積立金) 令和3年度決算積立金残高 1,748,893
 ※上町自治会一般会計予算より、上町防災会へ繰出金として拠出、上町防災会特別会計に積立(定期預金)
 ※繰り出し金額については、毎年度の事業計画に基づき予算編成する(金額変動有り)
- ・積立金3 (上町自治会館建替え積立金) 年額 3,600 対象世帯数 145
 ※令和4年度より、自治会館建替えを目的とする積立金の運用を開始する
 ※別紙の上町自治会館建替え積立金設置規約を参照

上町自治会館及び消防詰所建替え工事概算費用について

A 自治会館建替え工事費用内訳

1 材木一式	1,600,000
2 大工手間	1,280,000
・80人工×16,000円	
3 基礎	800,000
4 屋根・トヨ	800,000
5 外壁	600,000
6 サッシ	400,000
7 建材	1,300,000
8 便器	300,000
9 流し台	50,000
10 水道(浄化槽)	1,000,000
11 電気設備	800,000
12 内装建具	300,000
13 インテリア	400,000
14 塗装	200,000
15 左官タイル	300,000

小 計 10,130,000

(消費税) 1,013,000

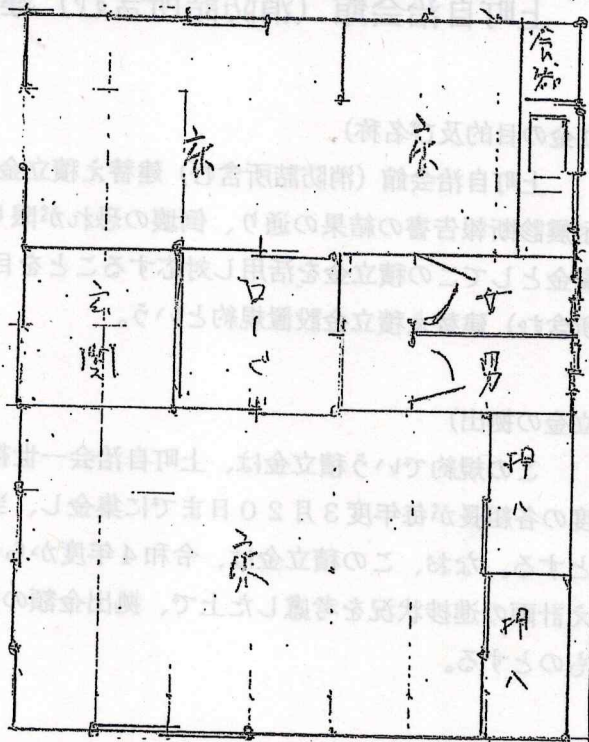
費用合計 11,143,000

備 考

※上町自治会組数 16組 ・ 上町防災会 ・ いいばしょ ・ やちよ会 ・ 育成会 ・ 他
 ※現自治会館の解体及び撤去費用は別途・火の見やぐら手解体・撤去費用は別枠で計上する

(単位 : 円)

A 上町自治会館平面図(平屋 1階面積 52.06㎡・15.75坪)



B 消防詰所建替え工事費用内訳

1 材木一式	1,000,000
2 大工手間	800,000
・50人工×16,000円	
3 基礎	480,000
4 屋根・トヨ	400,000
5 外壁	400,000
6 サッシ	200,000
7 建材	600,000
8 便器	150,000
9 流し台	40,000
10 水道(浄化槽)	750,000
11 電気設備	450,000
12 内装建具	180,000
13 シャッター	180,000
14 塗装	180,000
15 左官タイル	300,000

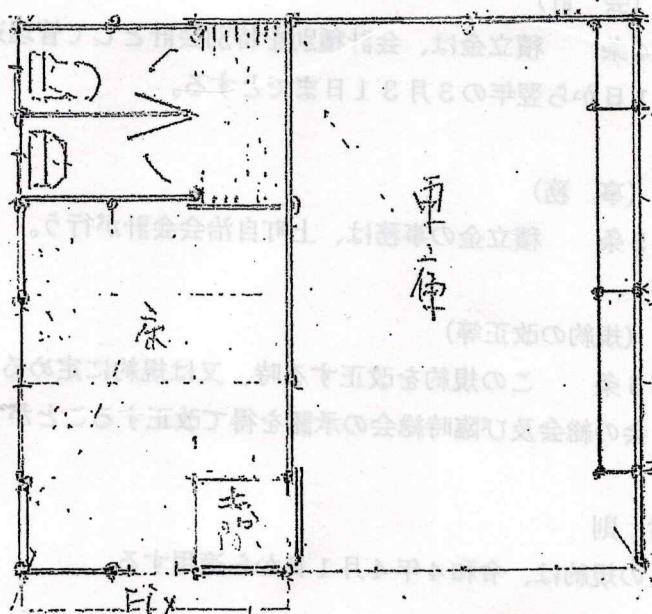
小 計 6,110,000

(消費税) 611,000

費用合計 6,721,000

(単位 : 円)

B 消防詰所平面図(平屋 1階面積 34.70㎡ 10.5坪)



A + B 費用合計(税込) 17,864,000

備 考

※土地取得費を別途予算計上する (想定土地坪数 12.6坪)

上町自治会館（消防詰所含む）建替え積立金設置規約

（積立金の目的及び名称）

第1条 上町自治会館（消防詰所含む）建替え積立金設置規約（以下、「規約」という。）は、耐震診断報告書の結果の通り、倒壊の恐れが限りなく強い現在の上町自治会館の建替え資金としてこの積立金を活用し対応することを目的とする。名称を上町自治会館（消防詰所含む）建替え積立金設置規約という。

（積立金の拠出）

第2条 この規約でいう積立金は、上町自治会一世帯につき年額3,600円とし、当該年度の各組長が毎年度3月20日までに集金し、当該年度の上町自治会会計に納めるものとする。なお、この積立金は、令和4年度から令和13年度迄とし、資金調達及び建替え計画の進捗状況を考慮した上で、拠出金額の変更及び期間の短縮をすることもできるものとする。

（積立金の取り崩し）

第3条 この規約でいう積立金は、第1条の目的のほかに取り崩すことはできない。又、取り崩す必要のある時は、上町自治会総会及び臨時総会の承認を得て、第1条の目的に当たる場合のみ取り崩すことができる。

（会 計）

第4条 積立金は、会計種別を特別会計として管理運用し、その会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

（事 務）

第5条 積立金の事務は、上町自治会会計が行う。

（規約の改正等）

第6条 この規約を改正する時、又は規約に定めるもののほか必要な事項は、上町自治会の総会及び臨時総会の承認を得て改正することができる。

附 則

この規約は、令和4年4月1日から適用する。

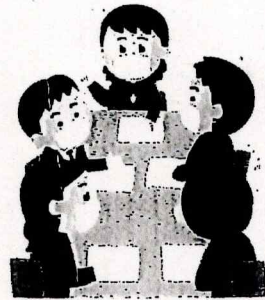
令和4年度上町自治会館建替え準備委員会発足

1 発足の経緯

令和3年度上町自治会館耐震・工事検討委員会の耐震工事に対する方向性を受けて、上町自治会内に「上町自治会館建替え準備委員会」を、委員長に令和3年度検討委員会事務局の志村裕一、そして令和2年度、3年度に検討委員会に係わったメンバーに加え令和4年度上町自治会長、消防~~委~~団長を含めた、以下5名のメンバー構成により発足いたしました。尚、上町自治会館建替え準備委員の任期は令和4年度定期総会までとする。

2 上町自治会館建替え準備委員会メンバー

- ・志村 裕一 ・稀代 和夫 ・山岸 繁
- ・石川 衛 自治会長 ・上條 好人 上町消防団長



3 準備委員会の役割(目的)

令和3年度上町自治会館耐震・工事検討委員会において示された、一定の方向性に沿って様々な課題解決に向き合い具体的な準備を進めることを目的とする。令和4年度において以下の課題に対して取組み(準備)を進めてまいります。

4 課題への取組み(準備)

- 1) 現上町自治会館敷地内の火の見やぐらを解体撤去いたします。(※もしくは予算取り)
- 2) 現上町自治会組織のありかたを含め法人化(※認可地縁団体設立)の申請準備をいたします。
- 3) 自治会館・消防詰所建替えにあたり、施設整備機能等についての要望を広く募ります。

